

震度5強以上の地震、人的被害がなければ
「無事です」の旗を玄関に掲げましょう。

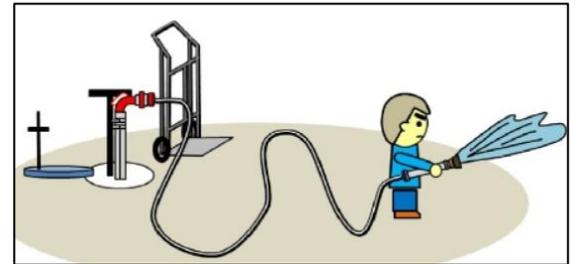
平成27年6月7日
せんげん支隊 情報・広報班

5月30日に大きな地震がありました。M8.1という巨大地震でしたが、深さ680キロのところでの地震であったためほとんど被害がなくて済みました。運が良かったということです。皆さん、備えを怠りなく。

1 5月の活動

- ① 5月10日(日) 第3回支隊長会議
- ② 5月10日(日) スタンドパイプ取り扱い基本訓練
- ③ 支隊便り第23号発行
- ④ 5月10日(日) 避難誘導班・救出救護班合同専門会議
- ⑤ 5月22日(金) 防火・消火班専門会議
- ⑥ 5月24日(日) 第1回隊長支隊長会議

スタンドパイプの訓練



2 6月の活動計画

- ① 6月7日(日) 支隊便り第24号発行
- ② 6月21日(日) 第1回スタンドパイプ放水訓練
- ③ 6月21日(日) 第4回支隊長会議
- ④ 6月14日(日) 給食・給水班専門会議

3 スタンドパイプ取り扱い基本訓練の報告

5月10日(日)、午後1時より小川会館にて今年度最初の訓練として、スタンドパイプの取り扱い基本訓練(操作手順の確認と実技訓練)を実施しました。参加者は10名と少人数でしたが、皆さん意欲満々で、代表支隊長・石崎さん自作の手順書と分かりやすい説明の後、「放水始め」、「放水やめ」の掛け声をかけながら和気あいあいと約1時間の訓練に取り組みました。その後、公園近くのマンホール(散水栓)に移動して蓋の開け方の訓練を行いました。この日は放水は行いませんでしたが、6月21日(日)に予定している訓練は、支隊長・班長が中心ですが、関心のある方は是非見学してください。ご希望の方は訓練に参加もできます。

4 成瀬中央自治会防災委員会副委員長 山垣 淑子氏の講演から

4月26日に防災隊の責任者全体会議が開催されました。会議に先立ち、成瀬中央自治会副委員長山垣氏に講演を依頼しました。今回は山垣氏の講演の中で私たちにも参考になりそうなことをいくつかご紹介します。山垣氏は兵庫県西宮市で阪神淡路大震災に遭遇されました。その経験からのお話(抜粋)です。

- ①役に立つ防災用具：キャリアカー：少し高いが5,000円くらいの頑丈なもの、重いものを運ぶのに便利
- 柄が取り外せるヒシヤク：トイレでバケツの水を流す時や、台所で水を使う時など大変便利
- 折り畳み水タンク：給水を受けるとき便利、適当な大きさ(20ℓ)くらいものを5~6個用意する
- 生活用水用ペットボトル：日頃からペットボトル(2ℓ以上)に水を入れあちこちに置いておく
- コイン：100~500円のコインをなるべく多く非常持ち出しバッグに入れておく。自販機や公衆電話用に必要。一番重宝したのはコインランドリーを使う時
- カセットガスストーブ、小型のガスストーブ、結構火力が強く、戸外でも使えて寒いときは重宝する

②防災用品の備蓄：分散備蓄と食糧は回転在庫(ローリングストック、循環備蓄ともいう)で備蓄を

5 外出時の「いざ」というときのために心がけておきましょう

- ① 常時持っていたいもの：携帯電話・ペットボトルの水・現金・緊急連絡先を書いたメモ・菓子(非常食)など
- ② 職場などに置いておきたいもの(歩いて帰る際に、①に加えて)：スニーカー・自宅までの地図・携帯ラジオ・懐中電灯・防寒着・軍手・タオルなど

*帰宅困難時には：無理をせず、状況が落ち着くまで被災地や近所の避難所などで待機していた方が安全な場合もある。家族への連絡は忘れずに。